

報告書抄録

ふりがな	あすかいけいせきはつくつちょうさほうこく							
書名	飛鳥池遺跡発掘調査報告							
副書名	本文編〔I〕 生産工房関係遺物							
巻次								
シリーズ名	奈良文化財研究所学報							
シリーズ番号	第71冊							
編著者名	安田龍太郎 松村恵司 西口壽生 花谷 浩 小池伸彦 市大樹 内田和伸 渡辺丈彦 小澤 毅 山崎信二 箱崎和久 村上 隆 降幡順子 齋藤 努 渡部圭一郎 富永里奈 長谷川 透 小谷徳彦 竹内 亮							
編集機関	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所							
所在地	〒630-8577 奈良県奈良市二条町2-9-1 TEL: 0742-30-6733 (研究支援推進部総務課)							
発行年月日	2021年12月20日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
あすかいけいせき 飛鳥池遺跡	ならけん 奈良県 たかいちぐん 高市郡 あすかわら 明日香村 あすか 飛鳥	294021	14-D-292	34° 28' 26" (日本測地系) 34° 28' 38" (世界測地系)	135° 49' 30" (日本測地系) 135° 49' 20" (世界測地系)	①1991.4.5) 1991.8.9 ②1997.1.8) 2001.3.12	14,220㎡	①1991年調査は飛鳥池の埋め立てに伴う事前調査。 ②1997年以降の調査は埋立地に計画された万葉文化館建設に伴う事前調査。その後、国の史跡指定に向けた遺跡の範囲確認調査を実施。
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
飛鳥池遺跡 飛鳥池東方遺跡 飛鳥寺	生産遺跡 流路跡 「狂心渠」の可能性 寺院跡	飛鳥時代 (七世紀後半を中心)	炉跡、陸橋、水溜、工房建物、掘立柱塀、掘立柱建物、石敷井戸、石組方形池、導水路、飛鳥寺南面大垣、道路、大溝、瓦窯、土坑、粘土採掘坑、江戸時代の梵鐘製造土坑。	富本銭、富本銭の鋳型や鋳棒・鋳バリ、金・銀と熔解用坩堝、被熱土器、多彩な銅製品、鋳型、坩堝、羽口、砥石、各種鉄製品と鉄滓、鉄鉗、石製坩堝、ガラス玉、ガラス坩堝・蓋、ガラス小玉の鋳型、水晶・琥珀玉、漆製品と漆刷毛・漆パレット・漆運搬容器などの漆工具、屋瓦と塼、様(木製の製品見本)、墨書土器、陶硯、鉛釉・緑釉土器、新羅土器、漆塗土器、ミニチュア土器、土馬、建築部材、木簡。		最古の鋳造貨幣である富本銭の生産遺跡。金・銀の加工と多様な銅製品や鉄製品、漆製品、瓦を生産。国産ガラスの製造の始まりが確認されるなど、古代の手工業技術を集約した一大工房群であることが判明。出土した八千点近い木簡の内容から、南地区は、遺跡の西南400mに位置する飛鳥浄御原宮と密接に関係し、宮廷の需要に応えるとともに、寺院や宮殿の造営に必要な物資を生産した国家的工房と推測される。一方、北地区は飛鳥寺三綱政所の業務空間として、道昭を中心とした東南禅院住僧の活動が想定される。本書は、出土遺物のうち、生産工房関係遺物、木製品、瓦塼類、木簡等を中心に報告。このほか図版編〔I〕、図版編〔II〕、付図からなる。土器・土製品は本文編〔II〕に、遺構等は本文編〔III〕に収録。		